

量の見込み(計画値)について
～ 市全域 ～

保育の必要性に係る月当たり就労下限時間
【80時間】
で算出

平成26年8月6日

平成26年度 第3回 御殿場市子ども・子育て会議資料

【目次】

ページ

◎教育・保育<3号認定>【0歳】(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育)	1
◎教育・保育<3号認定>【1、2歳】(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育)	2
◎教育・保育<1号認定>【3~5歳】(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園)	3
◎教育・保育<2号認定>【3~5歳】(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園)	4
◎教育・保育<2号認定>【3~5歳】(保育ニーズ:認定こども園及び保育所)	5
◎時間外保育事業	6
◎放課後児童健全育成事業<低学年>	7
◎放課後児童健全育成事業<高学年>	8
◎子育て短期支援事業(ショートステイ)	9
◎地域子育て支援拠点事業	10
◎一時預かり(在園児対象型)<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>	12
◎一時預かり(在園児対象型)<2号認定による定期的な利用>(幼稚園)	13
◎一時預かり他(一時預かり(在園児対象型を除く)、ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業を除く)、トワイライトステイ事業)<0-5歳児の利用:幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外>	14
◎病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター(病児・病後児)	16
◎ファミリー・サポート・センター(就学児)	17
◎利用者支援事業	19
◎乳児家庭全戸訪問事業	20
◎養育支援事業	21
◎妊婦健診	22
御殿場市子ども・子育て支援事業ニーズ調査「量の見込み」算出に係る関連項目	23

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

■0歳家庭のみ

<3号認定>(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育)

(1)0歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	874	843	830	854	818	801	788	780	768

(2)現状(各年3月1日現在)

(単位:人)

	H24	H25	H26
保育所(市民):0歳	159	165	149
保育所(委託):0歳	4	2	2
認可外※県検査時(10月):0歳	14	14	14
入所児童 合計	177	181	165
入所児童+入所待ち児童 合計	246	251	237

※保育所入所待ち、待機児童

	H24	H25	H26
入所待ち:0歳	69	70	72

※入所児童数に加える。

※認可外児童数は、H26の値をH24、H25にも使用した。

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「3. 認可保育所」から「10. 居宅訪問型保育」のいずれかを回答した人の割合より算出

《就労下限時間:月80時間》

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	14	14	14	14	13
タイプB フルタイム×フルタイム	273	267	263	260	256
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	67	66	65	64	63
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	5	5	5	5	4
全体	359	351	345	342	337

(4)計画値

(3)国算式による算出値から、問12で「日常的にみてもらえる人がいる人」は除いて算出

《就労下限時間:月80時間》

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	10	9	9	9	9
タイプB フルタイム×フルタイム	186	183	180	178	175
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	43	42	41	41	40
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	5	5	5	5	4
全体	244	239	235	233	229

(計画値算出の根拠等)

・0歳児は保護者が育児休暇を1年程度は取得すると考えられるため、国算式から算出される量の見込みではなく、「日常的に預けられる人がいない人」に絞った数値を計画値として採用した。
 ・実績と比較して、入所児童及び入所待ち児童を含めた数値とほぼ同程度となるので、数値の妥当性があると見込まれる。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

■1、2歳家庭のみ

<3号認定>(保育ニーズ:認定こども園及び保育所+地域型保育)

(1) 1、2歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
1歳	922	902	855	844	858	834	817	804	795
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
合計	1,846	1,844	1,774	1,695	1,711	1,699	1,658	1,628	1,606

(2) 現状(各年3月1日現在)

(単位:人)

	H24	H25	H26
保育所(市民):1歳	271	267	277
保育所(委託):1歳	6	4	2
認可外※県検査時(10月):1歳	22	22	22
1歳計	299	293	301
保育所(市民):2歳	346	338	334
保育所(委託):2歳	2	6	4
認可外※県検査時(10月):2歳	21	21	21
2歳計	369	365	359
入所児童 合計	668	658	660
入所児童+入所待ち児童 合計	713	707	703

※保育所入所待ち、待機児童

	H24	H25	H26
入所待ち:1歳	24	35	18
入所待ち:2歳	21	14	25
入所待ち合計	45	49	43

※入所児童数に加える。

※認可外児童数は、H26の値をH24、H25にも使用した。

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「3. 認可保育所」から「10. 居宅訪問型保育」のいずれかを回答した人の割合より算出

《就労下限時間:月80時間》

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	51	51	50	49	48
タイプB フルタイム×フルタイム	424	421	411	403	398
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	269	267	261	256	252
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	744	739	721	708	699

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値をそのまま採用

《就労下限時間:月80時間》

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
全体	744	739	721	708	699

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを採用した。
- ・実績と比較して、入所児童及び入所待ち児童を含めた数値とほぼ同程度となるので、数値の妥当性があると見込まれる。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

■3歳～就学前家庭のみ

<1号認定>(教育ニーズ:認定こども園及び幼稚園)

(1)3～5歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	2,767	2,818	2,850	2,737	2,685	2,604	2,550	2,529	2,501

利用率→ 53.9% 54.3% 51.7% 51.2% 51.7% 51.7% 51.7% 51.7% 51.7%

(2)現状(各年5月1日現在)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26
幼稚園(3歳)	492	490	458	429
幼稚園(4歳)	504	531	496	475
幼稚園(5歳)	496	510	520	481
認定こども園(3歳)				10
認定こども園(4歳)				5
認定こども園(5歳)				2
合計	1,492	1,531	1,474	1,402

(3)国算式による算出値

末就学児童調査の問17で「1. 幼稚園」または「4. 認定こども園」を回答した人の割合より算出

《就労下限時間:月80時間》

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	440	427	418	414	410
タイプD 専業主婦(夫)	826	801	785	778	770
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	20	19	19	19	19
タイプF 無業×無業	7	6	6	6	6
全体	1,293	1,254	1,228	1,218	1,204
<1号認定>+<2号認定(幼稚園)>	1,540	1,494	1,463	1,451	1,435

(4)計画値

(3)国算式による算出値をそのまま採用

《就労下限時間:月80時間》

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
全体	1,293	1,254	1,228	1,218	1,204
<1号認定>+<2号認定(幼稚園)>	1,387	1,345	1,317	1,306	1,292

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みを採用した。
 ・<2号認定(幼稚園)>の計画値と合算し、人口推移も考慮した上でこれまでの実績と比較すると、若干少ない見込みとなっているものの、3-5歳児全体に占める利用率を考慮に入れると妥当な数値と考えられる(利用率 H25:51.7%、H27~31:51.7%)。

「量の見込み」計画値

◎教育・保育

■3歳～就学前家庭のみ

<2号認定> (教育ニーズ: 認定こども園及び幼稚園)

(1) 3～5歳児人口(各年3月31日現在: H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位: 人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	2,767	2,818	2,850	2,737	2,685	2,604	2,550	2,529	2,501
利用率→	53.9%	54.3%	51.7%	51.2%	51.7%	51.7%	51.7%	51.7%	51.7%

(2) 現状(各年5月1日現在)

(単位: 人)

	H23	H24	H25	H26
幼稚園(3歳)	492	490	458	429
幼稚園(4歳)	504	531	496	475
幼稚園(5歳)	496	510	520	481
認定こども園(3歳)				10
認定こども園(4歳)				5
認定こども園(5歳)				2
合計	1,492	1,531	1,474	1,402

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問16-1で「1. 幼稚園」を回答した人の割合より算出

<<就労下限時間: 月80時間>>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	53	52	51	50	50
タイプB フルタイム×フルタイム	107	104	102	101	100
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	87	84	82	82	81
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	247	240	235	233	230
<1号認定> + <2号認定(幼稚園)>	1,540	1,494	1,463	1,451	1,435

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値から、問17で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園の預かり保育」と回答した人に絞って算出

<<就労下限時間: 月80時間>>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	33	32	32	31	31
タイプB フルタイム×フルタイム	47	46	45	45	44
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	13	13	13	13	12
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	94	91	89	89	88
<1号認定> + <2号認定(幼稚園)>	1,387	1,345	1,317	1,306	1,292

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みは「現在幼稚園を利用している人」の割合であり、「今後の利用意向」を考慮したものではないため、「現在幼稚園を利用」しており、かつ「今後も幼稚園を希望している」人に絞って算出した数値を計画値として採用した。
 ・<1号認定>の計画値と合算し、これまでの実績と比較すると、若干少ない見込みとなっているものの、3～5歳児全体に占める利用率を考慮に入れると妥当な数値と考えられる(利用率 H25: 51.7%、H27～31: 51.7%)。

◎教育・保育

■3歳～就学前家庭のみ

<2号認定> (保育ニーズ: 認定こども園及び保育所)

(1) 3～5歳児人口 (各年3月31日現在: H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位: 人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	2,767	2,818	2,850	2,737	2,685	2,604	2,550	2,529	2,501
利用率→	45.3%	46.1%	45.3%	46.0%	45.9%	45.9%	45.9%	45.9%	45.9%

(2) 現状 (各年3月1日現在)

(単位: 人)

	H24	H25	H26
保育所(市民): 3歳	398	414	394
保育所(委託): 3歳	6	6	3
認可外※県検査時(10月): 3歳	7	7	7
3歳計	411	427	404
保育所(市民): 4歳	399	426	427
保育所(委託): 4歳	6	5	6
認可外※県検査時(10月): 4歳	6	6	6
4歳計	411	437	439
保育所(市民): 5歳	399	402	420
保育所(委託): 5歳	4	7	4
認可外※県検査時(10月): 5歳	6	6	6
5歳計	409	415	430
入所児童 合計	1,231	1,279	1,273
入所児童+入所待ち児童 合計	1,254	1,299	1,291

7月1日時点の人数で計算

※保育所入所待ち、待機児童

	H24	H25	H26
入所待ち: 3歳	17	9	10
入所待ち: 4歳	4	9	7
入所待ち: 5歳	2	2	1
入所待ち 合計	23	20	18

※入所児童数に加える。

※認可外児童数は、H26の値をH24、H25にも使用

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問17で「1. 幼稚園」から「10. 居宅訪問型保育」のいずれかを回答した人の割合から、4ページの<2号認定(教育ニーズ: 認定こども園及び幼稚園)> (国算式による算出値) を除いて算出

<就労下限時間: 月80時間>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	87	84	82	82	81
タイプB フルタイム×フルタイム	626	607	594	589	583
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	360	349	342	339	335
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	7	6	6	6	6
全体	1,079	1,046	1,024	1,016	1,005

<2号認定(認定こども園及び保育所)> + <2号認定(幼稚園)> 1,326 1,286 1,259 1,249 1,235 ←参考に算出

(4) 計画値

算出方法は(3)国算式による算出値と同じだが、算出に使用する4ページの<2号認定(教育ニーズ: 認定こども園及び幼稚園)>を計画値を使用して算出

<就労下限時間: 月80時間>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	107	103	101	100	99
タイプB フルタイム×フルタイム	686	665	651	646	639
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	433	420	411	408	403
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	7	6	6	6	6
全体	1,232	1,195	1,170	1,160	1,147

<2号認定(認定こども園及び保育所)> + <2号認定(幼稚園)> 1,326 1,286 1,259 1,249 1,235 ←参考に算出

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みを採用した(ただし、2号(教育ニーズ)を国算式ではない方法で算出しているため、純粋な国算出値ではない。)
 ・これまでの実績と比較すると、若干少ない見込みとなっているものの、3-5歳児全体に占める利用率を考慮に入れると妥当な数値と考えられる(利用率 H25: 45.3%、H27~31: 45.9%)。

◎時間外保育事業

(1) 0～5歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	874	843	830	854	818	801	788	780	768
1歳	922	902	855	844	858	834	817	804	795
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	5,487	5,505	5,454	5,286	5,214	5,104	4,996	4,937	4,875

(2) 現状(年間実利用人数) (単位:人)

年度	H23	H24	H25
市民のみ	—	1,011	1,019
受託含む	—	1,047	1,045

保育所入所児童数(各年度3月1日現在)

年度	H23	H24	H25
市民のみ	1,972	2,012	2,001
受託含む	2,028	2,071	2,052



利用率

年度	H24	H25
市民のみ	0.502	0.509
受託含む	0.506	0.509

(3) 国算式による算出値

末就学児童調査の問17で「3. 認可保育所」から「10. 居宅訪問型保育」のいずれかを回答、かつ、問16-2(2)で「18時以降」と回答した人の割合から算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	54	52	51	51	50
タイプB フルタイム×フルタイム	380	372	364	360	355
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	84	83	81	80	79
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	518	507	496	491	484

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値ではなく、実人数の集計実績のあるH24、H25で実績が最大のH25の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の保育ニーズ合計に掛け合わせて算出

H25の利用者割合	0.509	H27	H28	H29	H30	H31
		人日	人日	人日	人日	人日
全体		1,131	1,106	1,083	1,070	1,057
(参考)2号、3号の保育ニーズ合計		2,220	2,172	2,126	2,101	2,075

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みは、これまでの実績の半分程度だったため、当該事業の実人数の実績のあるH24、H25の2年間のうち実績の大きいH25の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の保育ニーズ(1号、2号、3号の量の見込みの合計)を掛け合わせることで算出した。

◎放課後児童健全育成事業<低学年>

(1)小1～小3人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
小1	917	896	913	939	949	914	899	843	834
小2	952	909	911	895	954	944	910	895	839
小3	960	930	908	906	903	948	938	904	889
合計	2,829	2,735	2,732	2,740	2,806	2,806	2,747	2,642	2,562

(2)現状(年間延べ利用児童数:各年度5月末日現在) (単位:人日)

	H23	H24	H25	H26
低学年(小1～小3)	626	643	639	728

(3)国算式による算出値

就学児童調査の問16で「4. 放課後児童教室〔学童保育〕」と回答した人の割合から算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	81	81	79	76	74
タイプB フルタイム×フルタイム	399	399	390	375	364
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	170	170	167	160	156
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	650	650	636	612	593

※参考(就労時間は不問)

(3)国算式による算出値に、就労下限時間(月80時間)以下の就労家庭も含めて算出(「タイプC'」、「タイプE'」を含める)

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	81	81	79	76	74
タイプB フルタイム×フルタイム	399	399	390	375	364
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	170	170	167	160	156
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	16	16	16	15	15
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	666	666	652	627	608

(4)計画値

(3)国算式による算出値ではなく、H26の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計人口に掛け合わせて算出

H26の利用者割合	0.266					
	H27	H28	H29	H30	H31	
	人日	人日	人日	人日	人日	
全体	746	746	730	702	681	

(計画値算出の根拠等)

・国算式では、対象とする家庭類型は「タイプA、B、C、E」の4類型だけだが、市の実態は、就労時間の判断は必要としない(就労していれば利用できる)。そのため、「タイプD:専業主婦(夫)」、「タイプF(無業×無業)」を除いた「タイプA、B、C、C'、E、E'」の6類型で算出される量の見込みを試算したが、H26の実績を下回るものだった。
 ・H26は例年以上の利用者となり、今後も現状の実績を下回することは考えにくい。そのため、直近のH26の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計人口を掛け合わせることで算出した。

◎放課後児童健全育成事業＜高学年＞

(1)小4～小6人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計) (単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
小4	957	947	931	892	899	898	942	932	899
小5	900	949	940	923	891	888	888	931	921
小6	879	893	949	943	914	887	884	884	927
合計	2,736	2,789	2,820	2,758	2,704	2,673	2,714	2,747	2,747

(2)現状(年間延べ利用児童数:各年度5月末日現在) (単位:人日)

	H23	H24	H25	H26
高学年(小4～小6)	17	9	44	40

(3)国算式による算出値

就学児童調査の問17で「4. 放課後児童教室〔学童保育〕」と回答した人の割合から算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	33	32	33	33	33
タイプB フルタイム×フルタイム	75	74	76	77	77
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	47	47	48	48	48
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	155	153	156	158	158

(4)計画値

(3)国算式による算出値に、就労下限時間(月80時間)以下の就労家庭も含めて算出(「タイプC'」、「タイプE'」を含める)

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	33	32	33	33	33
タイプB フルタイム×フルタイム	75	74	76	77	77
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	47	47	48	48	48
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	22	22	22	23	23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	5	5	5	5	5
全体	182	180	183	185	185

(上記数値算出の根拠等)

- ・国算式では、対象とする家庭類型は「タイプA、B、C、E」の4類型だけだが、市の実態は、就労時間の判断は必要としない(就労していれば利用できる)。そのため、「タイプD:専業主婦(夫)」、「タイプF(無業×無業)」を除いた「タイプA、B、C、C'、E、E'」の6類型で算出される量の見込みを採用した。
- ・小学校6年生までの範囲の拡大は、これまでに実績のない事業のため、見込みが難しい。
- ・当該事業では、低学年と高学年で算出方法が異なる。

「量の見込み」計画値

◎子育て短期支援事業(ショートステイ)

(1)0～5歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	874	843	830	854	818	801	788	780	768
1歳	922	902	855	844	858	834	817	804	795
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	5,487	5,505	5,454	5,286	5,214	5,104	4,996	4,937	4,875

(2)現状(年間実利用人数)

(単位:人日)

	H23	H24	H25
実人数	0	0	0

※事業未実施

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問25で「1. あった」と回答した人のうち、「イ. ショートステイを利用した」または「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を回答した人の割合から算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	0	0	0	0	0

(4)計画値

(3) 国算式による算出値をそのまま採用

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
全体	0	0	0	0	0

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みを採用した。
- ・これまで事業を実施していないため、量の見込みもゼロとする。

◎地域子育て支援拠点事業

(1) 0～2歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	874	843	830	854	818	801	788	780	768
1歳	922	902	855	844	858	834	817	804	795
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
合計	2,720	2,687	2,604	2,549	2,529	2,500	2,446	2,408	2,374

(2) 現状(0～2歳の年間延べ利用人数)

(単位:人日)

年度	H23	H24	H25
公立保育所	1,112	1,421	1,167
私立保育所	6,780	7,067	6,551
子ども家庭センター	16,593	16,918	15,371
合計	24,485	25,406	23,089
月平均	2,040	2,117	1,924

※私立保育所では0～2歳の利用集計は取っていなかったため、各園に依頼し、H25のみ集計を取ってもらった。

※私立保育所のH23、H24の実績値は、H25の0～5歳の延べ利用人数から0～2歳の利用者が占める割合を算出し、その割合にH23、H24の0～5歳の延べ利用人数を掛け合わせることで推計値を算出した。(H25の利用割合:44.9%)

0.448729

※参考:0～5歳の子ども及び保護者の年間延べ利用人数 (単位:人日)

年度	H23	H24	H25
公立保育所	2,454	2,949	2,484
私立保育所	15,110	15,749	14,599
子ども家庭センター	50,864	53,302	48,490
合計	68,428	72,000	65,573
月平均	5,702	6,000	5,464

←小学生、中学生、高校生の利用は除く。

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問18で「利用している」と回答した人と、問19で「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した人の割合から算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人回	人回	人回	人回	人回
タイプA ひとり親	57	56	55	54	53
タイプB フルタイム×フルタイム	2,346	2,319	2,269	2,234	2,202
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	772	763	747	735	725
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	375	371	363	357	352
タイプD 専業主婦(夫)	4,989	4,932	4,825	4,750	4,683
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13	13	12	12	12
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	6	6	6	6	6
全体	8,558	8,460	8,277	8,149	8,034
年間換算	102,697	101,519	99,326	97,783	96,403

◎地域子育て支援拠点事業

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値ではなく、過去3年間で実績が最大のH24の実績から1人当たりの年間延べ利用回数を算出し、その回数に各年度の0～2歳児の推計人口を掛け合わせて算出

※H26からみらい保育園が増えたため、同園の4～6月の実績(約400件)から年間1,600件をH24の実績に上乗せして1人当たりの年間延べ利用回数を算出。私立保育所の実績:7,067件→8,667件。総計27,006件。

H24の1人当たり年間延べ利用回数	10.371				
	H27	H28	H29	H30	H31
	人回	人回	人回	人回	人回
全体(年間換算値)	26,228	25,927	25,367	24,973	24,621

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みは、実績を大きく上回る数値となったため、妥当性に欠けると判断した。
- ・過去3年間で実績が最大のH24の実績から0～2歳児の一人当たりの年間延べ利用回数を算出し、その回数に各年度の推計人口を掛け合わせることで算出した(平成26年度からみらい保育園が増えたため、算出の際、H24の実績に同園の実績見込み(年間1,600件)も含めている。)

◎一時預かり(在園児対象型)

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

(1) 3～5歳児人口(各年3月31日現在: H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位: 人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	2,767	2,818	2,850	2,737	2,685	2,604	2,550	2,529	2,501

(2) 現状(年間延べ利用児童数) (単位: 人日)

年度	H23	H24	H25
公立(8園)	1,404	1,404	1,763
私立(2園)	9,800	10,303	9,439
合計	11,204	11,707	11,202
長期休業除く	8,079	8,828	8,500

※私立幼稚園の長期休業(春・夏・冬)中の使用

年度	H23	H24	H25
私立(2園)	3,125	2,879	2,702

※1園はH25実績をH23,24にも使用

長期休業中の使用を除くと…

(参考) 3～5歳の保育所における一時預かりも考慮

3～5歳の保育所における一時預かり実績(幼稚園利用者の利用状況は不明)

年度	H23	H24	H25
公立(8園)	264	614	344
私立(8園)	493	200	530
合計	757	814	874

幼稚園の預かり保育に加えると…

年度	H23	H24	H25
長期休業含む	11,961	12,521	12,076
長期休業除く	8,836	9,642	9,374

(3) 国算式による算出値

幼稚園通園児で、問24で「1. 利用したい」と回答した人と、問23で「1. 一時預かり」または「2. 幼稚園の預かり保育」を回答した人の割合から算出

<就労下限時間: 月80時間>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,329	2,259	2,212	2,194	2,170
タイプD 専業主婦(夫)	1,585	1,538	1,506	1,493	1,477
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	11	11	11	10	10
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	3,926	3,807	3,728	3,698	3,657
<1号認定> + <2号認定による定期的な利用>	26,639	25,835	25,300	25,091	24,813

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値から、問12で「日常的にみてもらえる人がいる人」は除いて算出

<就労下限時間: 月80時間>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,554	1,507	1,476	1,463	1,447
タイプD 専業主婦(夫)	991	961	941	933	923
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	6	5	5	5	5
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	2,550	2,473	2,422	2,402	2,375
<1号認定> + <2号認定による定期的な利用>	15,481	15,014	14,703	14,582	14,421

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みではなく、「日常的に預けられる人がいない人」に絞った数値を計画値として採用した。
 ・<2号認定による定期的な利用>の計画値と合算し、これまでの実績と比較すると、多めの計画値となっているものの、幼稚園の預かり保育等の潜在的ニーズはあると考えられるため、当該数値を採用した。

「量の見込み」計画値

◎一時預かり(在園児対象型)

<2号認定による定期的な利用>(幼稚園)

(1)3～5歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	2,767	2,818	2,850	2,737	2,685	2,604	2,550	2,529	2,501

(2)現状(年間延べ利用児童数)

⇒不明

(3)国算式による算出値

4ページの<2号認定(認定こども園及び幼稚園)>に、問15(1)-1の就労日数を掛け合わせて算出

≪就労下限時間:月80時間≫

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	7,221	7,003	6,858	6,801	6,726
タイプB フルタイム×フルタイム	12,011	11,648	11,407	11,313	11,188
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	3,482	3,377	3,307	3,280	3,243
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	22,713	22,028	21,571	21,393	21,157
<1号認定>+<2号認定による定期的な利用>	26,639	25,835	25,300	25,091	24,813

(4)計画値

(3)国算式による算出値から、問12で「日常的にみてもらえる人がいる人」は除いて算出

≪就労下限時間:月80時間≫

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	4,332	4,202	4,115	4,081	4,035
タイプB フルタイム×フルタイム	6,858	6,651	6,513	6,460	6,388
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	1,741	1,688	1,653	1,640	1,622
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	12,931	12,541	12,281	12,180	12,045
<1号認定>+<2号認定による定期的な利用>	15,481	15,014	14,703	14,582	14,421

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みではなく、「日常的に預けられる人がいない人」に絞った数値を計画値として採用した。
- ・<1号認定>の計画値と合算し、これまでの実績と比較すると、多めの計画値となっているものの、幼稚園の預かり保育等の潜在的ニーズはあると考えられるため、当該数値を採用した。

◎一時預かり他

(一時預かり(在園児対象型を除く)、ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業を除く)、トワイライトステイ事業)

<0～5歳児の利用:幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外>

(1)0～5歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	874	843	830	854	818	801	788	780	768
1歳	922	902	855	844	858	834	817	804	795
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	5,487	5,505	5,454	5,286	5,214	5,104	4,996	4,937	4,875

(2)現状(年間延べ利用児童数)

(単位:人日)

①一時預かり

年度		H23	H24	H25
公立	3歳未満	3,824	4,981	5,720
	3歳以上	264	614	344
	計	4,088	5,595	6,064
私立	3歳未満	2,687	2,614	2,515
	3歳以上	493	200	530
	計	3,180	2,814	3,045

<全体(公立+私立)>

年度	H23	H24	H25
3歳未満	6,511	7,595	8,235
3歳以上	757	814	874
計	7,268	8,409	9,109

3歳以上は、在園児対象型に含めているので除いて計算



②ファミリー・サポート・センター(病児・病後児以外)

年度	H23	H24	H25
未就学児	714	1,479	1,808
就学児	554	1,181	1,345
計	1,268	2,660	3,153

③ ①(3歳未満)+②(未就学児)

年度	H23	H24	H25
利用児童数	7,225	9,074	10,043

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問24で「1. 利用したい」と回答した人の割合から算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	2,588	2,534	2,480	2,451	2,420
タイプB フルタイム×フルタイム	8,831	8,645	8,462	8,362	8,257
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	6,870	6,725	6,583	6,505	6,423
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	4,471	4,398	4,304	4,245	4,189
タイプD 専業主婦(夫)	13,361	13,094	12,816	12,659	12,498
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	45	44	44	43	42
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	21	21	21	20	20
タイプF 無業×無業	78	76	75	74	73
全体	36,267	35,538	34,784	34,360	33,923

◎一時預かり他

(一時預かり(在園児対象型を除く)、ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業を除く)、トワイライトステイ事業)

<0-5歳児の利用:幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外>

(4)計画値

(3)国算式による算出値から、「定期的な事業利用として保育ニーズのある児童」及び「2号認定(幼稚園希望)の児童」を除いた人のうち、問12で「日常的または緊急時にみてもらえる人がいる人」で、かつ「預けることに心配がない人」を除いて算出

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	20	19	19	19	19
タイプB フルタイム×フルタイム	399	391	383	378	373
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	2,650	2,607	2,551	2,516	2,483
タイプD 専業主婦(夫)	8,782	8,607	8,424	8,321	8,215
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	3	3	3	3	3
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	7	7	7	7	7
タイプF 無業×無業	78	76	75	74	73
全体	11,939	11,709	11,461	11,317	11,172

(計画値算出の根拠等)

・国算式から算出される量の見込みには、「①定期的な事業利用として保育ニーズのある児童」及び「②2号認定(幼稚園希望)の児童」が含まれている。①は、保育所等の利用を希望していることから、希望がかなえば一時預かりは必要としないと考えられる。また、②は、一時預かり(在園児対象型)に計上されているため、ここでの算出過程から除く必要がある。

・上記を踏まえ、上記①②を除いた子どものうち、「日常的または緊急時に預けられる人がいる人」で、かつ「預けることに心配がない人」を除いた数値を採用した。

・これまでの実績と比較すると、多めの計画値となっているものの、一時預かりの潜在的ニーズはあると考えられるため、当該数値を採用した。

◎病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター(病児・病後児)

(1)0～5歳児人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	874	843	830	854	818	801	788	780	768
1歳	922	902	855	844	858	834	817	804	795
2歳	924	942	919	851	853	865	841	824	811
3歳	964	943	929	883	857	848	860	836	819
4歳	905	957	955	912	906	849	840	852	829
5歳	898	918	966	942	922	907	850	841	853
合計	5,487	5,505	5,454	5,286	5,214	5,104	4,996	4,937	4,875

(2)現状(年間実利用人数)

(単位:人日)

①病児保育・病後児保育

年度	H23	H24	H25
病児保育	26	13	1
病後児保育	464	457	517
合計	490	470	518

※私立保育所1園が実施
※私立保育所2園が実施

②ファミリー・サポート・センター(子どもの病気時の援助)(0～5歳)

年度	H23	H24	H25
件数	1	4	5

③ ①と②の合計

年度	H23	H24	H25
件数	491	474	523

(3)国算式による算出値

未就学児童調査の問22-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」と回答した人のうち、問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人と、問22-1で「5. 病児・病後児保育を利用した」および「7. ファミサポを利用した」、「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した人の割合から算出

≪就労下限時間:月80時間≫

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	147	144	141	139	138
タイプB フルタイム×フルタイム	3,418	3,346	3,275	3,236	3,196
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,889	1,850	1,810	1,789	1,767
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	39	38	37	37	36
全体	5,493	5,378	5,264	5,202	5,136

(4)計画値

(3)国算式による算出値から、問12で「日常的にも緊急時にも預けられる人がいない人」に絞って算出

≪就労下限時間:月80時間≫

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	23	22	22	22	21
タイプB フルタイム×フルタイム	561	549	537	531	524
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	402	394	386	381	376
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	986	965	945	934	922

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式から算出される量の見込みから「日常的にも緊急時にも預けられる人がいない人」に絞った数値を採用した。(子どもが病気の際は、緊急時と考えられるため。)
- ・平成26年度からみらい保育園が増えたため、これまでの実績よりも増加が見込まれる。

◎ファミリー・サポート・センター(就学児)

(1)小1～小6人口(各年3月31日現在:H26までは実績、H27以降は将来推計)

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
小1	917	896	913	939	949	914	899	843	834
小2	952	909	911	895	954	944	910	895	839
小3	960	930	908	906	903	948	938	904	889
低学年計	2,829	2,735	2,732	2,740	2,806	2,806	2,747	2,642	2,562
小4	957	947	931	892	899	898	942	932	899
小5	900	949	940	923	891	888	888	931	921
小6	879	893	949	943	914	887	884	884	927
高学年計	2,736	2,789	2,820	2,758	2,704	2,673	2,714	2,747	2,747
合計	5,565	5,524	5,552	5,498	5,510	5,479	5,461	5,389	5,309

(2)現状(年間延べ利用児童数)

(単位:人日)

年度	H23	H24	H25
未就学児	718	1,480	1,813
就学児	558	1,182	1,345
計	1,276	2,662	3,158

<会員数>

	H23	H24	H25
委託会員	432	475	502
受託会員	120	128	133
委受託会員	168	167	172

「量の見込み」計画値

◎ファミリー・サポート・センター(就学児)

(3) 国算式による算出値

未就学児童調査の問26・問27で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答した人の割合から算出

<低学年>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	188	188	184	177	171
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	188	188	184	177	171

<高学年>

	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	181	179	181	184	184
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	181	179	181	184	184

(4) 計画値

(3) 国算式による算出値ではなく、過去3年間で実績が最大のH25の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計人口に掛け合わせて算出

H25の利用者割合	0.245				
	H27	H28	H29	H30	H31
	人日	人日	人日	人日	人日
全体	1,348	1,340	1,336	1,318	1,299

(計画値算出の根拠等)

- ・国算式による算出値は、実績を大きく下回るものであり、妥当性がないと判断した。
- ・当該事業の会員数は、年々増えており、今後も現状の実績を下回することは考えにくい。
- ・上記の理由から、過去3年間で実績が最大のH25の実績から利用者割合を算出し、その割合に各年度の推計人口を掛け合わせることで算出した。

国ワークシート以外での事業量見込(案)

【「利用者支援」「乳児家庭全戸訪問事業」「養育支援護訪問事業」「妊婦に対する健康診査」】

利用者支援事業

＜事業の概要＞ 子ども子育て支援法第59条1、H26.1.24開催 内閣府「子ども・子育て支援新制度説明会」資料より

[事業目的]

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業
※子ども子育て支援法により新設

[事業内容]

- 総合的な利用者支援
子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用にあたっての「情報集約・提供」「相談」「利用支援・援助」
- 地域連携
子育て支援などの関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくりを行い、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域で必要な社会資源の開発等

※下記のいずれかの類型を選択して実施

- ①基本型：「利用者支援」と「地域連携」をともに実施する形態
主として行政窓口以外で、親子が継続的に利用できる施設を活用
(例：地域子育て支援拠点事業で実施の「地域機能強化型」)
- ②特定型：主に「利用者支援」を実施する形態 ※地域連携については行政がその機能を果たす主として行政機関の窓口等を活用
(例：横浜市「保育コンシェルジュ事業」)

＜事業量見込みに関する国の考え方(手引きP61)＞

- 教育・保育施設や地域の子育て支援の事業に係る情報収集・提供、相談等を実施することから、教育・保育施設や他の地域子ども・子育て支援事業の量の見込を勘案して、当事業の量の見込を算出すること。
- この場合、子育て中の親子の身近な場所に設置することが必要であることから、**例えば複数の中学校区(2中学校区など)に1箇所などを目安として、箇所数で設定する。**
- この際に、自治体独自で、例えば、[国モデル票の間19⑥の]「子育ての総合相談窓口」の利用意向にかかる設問など、**事業内容に一定程度親和性がある調査項目を設けている場合には、当該利用意向を勘案することも考えられる。**

【県報告における整理方法(提案)】

- **暫定値として、最終年度までに全域で〇箇所**
- ①基本型として、現在の拠点事業実施箇所〇カ所を実施。
現在「地域機能強化型」の拠点は無いため、計画年度内に順次移行していくものとする
(単位：箇所)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込(案)	1	1	1	1	1

乳児家庭全戸訪問事業

＜事業の概要＞ 子ども子育て支援法第59条7、H26.1.24開催 内閣府「子ども・子育て支援新制度説明会」資料より

[事業目的]

生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業

＜事業量見込みに関する国の考え方(手引きP67)＞

○量の見込は「人数」のみ

【県報告における整理方法(提案)】

- 暫定値として、**0歳児推計人口**(≡当該年度の生後4カ月までの乳児数)としてはどうか
- 直近の訪問人数や訪問率等がわかれば、それを用いることも可能

(単位:人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込(案)	818	801	788	780	768

←0歳児推計人口

[参考]乳児家庭全戸訪問事業実績

	23年度	24年度	25年度
対象家庭数(件)	882	870	888
訪問実績	710	799	829

養育支援訪問事業

＜事業の概要＞ 子ども子育て支援法第59条8、H26.1.24開催 内閣府「子ども・子育て支援新制度説明会」資料より

[事業目的]

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業

＜事業量見込みに関する国の考え方(手引きP67)＞

○量の見込みは「人数」のみ

■要保護児童対策地域協議会乳幼児部会の中で訪問指導を要する家庭の未就学児の数を採用した
(H26年3月開催の部会で「47人」だったため、切り上げて「50人」とする)
(6月24日子育て支援課 田代統括から教えていただいた)

(単位:人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込(案)	50	50	50	50	50

妊婦に対する健康診査

<事業の概要>

子ども子育て支援法第59条13、H26.1.24開催 内閣府「子ども・子育て支援新制度説明会」資料より

[事業目的]

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業

※妊婦検診は安全・安心な出産のために重要であることから子ども・子育て支援法において母子保健法に基づく妊婦健診を「地域子ども・子育て支援事業」に位置づけ

※母子保健法改正により、妊婦健診の望ましい基準が策定される（健診回数、実施時期、検査項目等）

<事業量見込みに関する国の考え方(手引きP66)>

○量の見込として「人数」「健診回数」の設定が必要

○健診回数は一人あたり健診回数×人数で算出

【県報告における整理方法(提案)】

■ 暫定値として、0歳児推計人口×直近実績における対0歳児人口受診率(167%)で算出

※下記[参考]における対0歳児人口受診率（受診実人数／0歳児人口）のH25年度値を使用

(単位:人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込(案)	1,365	1,337	1,315	1,302	1,282
0歳児人口	818	801	788	780	768

[参考]妊婦健康診査 実績

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受診実人数	-	1,436	1,349	1,312	1,366	1,385
受診延べ人数	4,732	15,304	14,642	14,571	14,578	14,296
0歳児人口(4月1現在)		918	921	874	843	830
受診実人数／0歳児人口	#VALUE!	156%	146%	150%	162%	167%

**御殿場市子ども・子育て支援事業ニーズ調査
「量の見込み」算出に係る関連項目**

《未就学児童用調査項目》

問 12 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族または友人・知人はいますか。

(○はあてはまるものすべて)

1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	}	問12-1へ
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる		
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	}	問12-2へ
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる		
5 いずれもない → 問13へ		

問 15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・農業等、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親についてうかがいます。(○は1つ) 【父子家庭の場合は(2)へ】

1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	(1)-1へ
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない		
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	(1)-3へ
6 これまで就労したことがない		

(1)-1 (1)で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(□内に数字で記入)

1週当たり： □ 日	1日当たり： □ 時間
家を出る時刻： □ 時	帰宅時刻： □ 時
(24時間制表記) □	(24時間制表記) □

問 16-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1	幼稚園（通常の就園時間の利用）
2	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4	認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）※現在、市内にはありません。
5	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業（保育ママなど））
6	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） ※現在、市内にはありません。
8	その他の認可外の保育施設
9	居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11	その他（

問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かお答えください。(□内に数字で記入)

(1) 現在

1週当たり	□	日	1日当たり：	□	時間	（	□	時～	□	時）
(24時間制表記)										

(2) 希望

1週当たり	□	日	1日当たり：	□	時間	（	□	時～	□	時）
(24時間制表記)										

問 17 **すべての方にうかがいます。**現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(○はあてはまるものすべて)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(別紙をご参照ください)

1	幼稚園(通常の就園時間の利用)
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3	認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4	認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設) ※平成26年4月から印野こども園が開園します。
5	小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)
6	家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8	自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9	その他の認可外の保育施設
10	居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12	その他()

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれます。)を利用していますか。(○はあてはまるものすべて)

また、利用している方はおおよその利用回数(頻度)をご記入ください。(□内に数字で記入)

1	子ども家庭センター(市民交流センター「ふじざくら」内) ⇒1週当たり □□□□ 回 もしくは 1か月当たり □□□□ 回程度
2	幼稚園・保育所に設置されている地域子育て支援センター ⇒1週当たり □□□□ 回 もしくは 1か月当たり □□□□ 回程度
3	利用していない

問 19 問 18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○は1つ)

また、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。(□内に数字で記入)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(別紙をご参照ください)

1	利用していないが、今後利用したい ⇒1週当たり □□□□ 回 もしくは 1か月当たり □□□□ 回程度
2	すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい ⇒1週当たり 更に □□□□ 回 もしくは 1か月当たり 更に □□□□ 回程度
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1 あった → 問22-1へ	2 なかった → 問23へ
-----------------------	----------------------

問 22-1 問 22 で「1」を選ばれた方にうかがいます。この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は何ですか。(○はあてはまるものすべて)
また、その日数は概ね何日ですか。

(半日程度の場合も1日とカウントしてください)(□内に数字で記入)

1 父親が休んだ	年間	□	日	} 問22-2へ	
2 母親が休んだ	年間	□	日		
3 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	年間	□	日	} 問22-5へ	
4 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間	□	日		
5 病児・病後児保育を利用した	年間	□	日		
6 ベビーシッターを利用した	年間	□	日		
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	年間	□	日		
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間	□	日		
9 その他()	年間	□	日		

問 22-2 問 22-1 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ)

また、その場合の日数はどれくらいありますか。

(「1」を選んだ場合は日数を□内に数字で記入)

※病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(別紙をご参照ください)

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒	年間	□	日	→ 問22-3へ
2 利用したいとは思わない → 問22-4へ				

問 23 この1年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）

（○はあてはまるものすべて・○をつけたものそれぞれの日数を□内に数字で記入）

1	一時預かり -----▶年間	<input type="text"/>	日	} 問24へ	
	(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)				
2	幼稚園の預かり保育 -----▶年間	<input type="text"/>	日		
	(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)				
3	ファミリー・サポート・センター -----▶年間	<input type="text"/>	日		
	(地域住民が子どもを預かる事業)				
4	夜間養護等事業：トワイライトステイ -----▶年間	<input type="text"/>	日		
	(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)				
5	ベビーシッター -----▶年間	<input type="text"/>	日	}	
6	その他 () -----▶年間	<input type="text"/>	日		
7	利用していない → 問23-1へ				

問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。利用希望がある場合はその目的と必要な日数をご記入ください。

（○はあてはまるものすべて・○をつけたものそれぞれの日数を□内に数字で記入）

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙をご参照ください）

1	利用したい -----▶合計年間	<input type="text"/>	日	} 問24-1へ
	ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む） や親の習い事等）、リフレッシュ目的 -----▶年間	<input type="text"/>	日	
	イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉 妹を含む）や親の通院等 -----▶年間	<input type="text"/>	日	
	ウ 不定期の就労 -----▶年間	<input type="text"/>	日	
	エ その他 () -----▶年間	<input type="text"/>	日	
2	利用する必要はない → 問25へ			

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)

また、あった場合はその対処方法と年間の泊数をご記入ください。

(○はあてはまるものすべて・○をつけたものそれぞれの日数を□内に数字で記入)

1	あつた	
	ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	---▶ 年間 <input type="text"/> 泊
	イ 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	---▶ 年間 <input type="text"/> 泊
	ウ 「イ」以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	---▶ 年間 <input type="text"/> 泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	年間 <input type="text"/> 泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 <input type="text"/> 泊
	カ その他 ()	年間 <input type="text"/> 泊
2	なかつた	→ 問26へ

}

問25-1へ

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

※「放課後児童教室」の場合は、利用を希望する時間をご記入ください。（□内に数字で記入）

1	自宅	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
4	放課後児童教室〔学童保育〕	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
	⇒下校時から <input type="text"/> 時まで（24時間制表記）					
5	子ども家庭センター	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
6	放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
7	ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
8	その他（公民館、公園、広場など）	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい

※公民館で行う「放課後子ども教室」の利用を希望する場合は「6」に回答

問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

※「放課後児童教室」の場合は、利用を希望する時間をご記入ください。（□内に数字で記入）

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えくだ

1	自宅	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
4	放課後児童教室〔学童保育〕	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
	⇒下校時から <input type="text"/> 時まで（ <input type="text"/> 制表記）					
5	子ども家庭センター	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
6	放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
7	ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい
8	その他（公民館、公園、広場など）	週	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	くらい

※公民館で行う「放課後子ども教室」の利用を希望する場合は「6」に回答

《就学児童用調査項目》

問 16 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていましたか。または、過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

「放課後児童教室」の場合は、利用（希望）時間もご記入ください。（□内に数字で記入）

9 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
10 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
11 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
12 放課後児童教室〔学童保育〕	週	<input type="text"/>	日くらい
	⇒下校時から	<input type="text"/>	時まで（24時間制表記）
13 子ども家庭センター	週	<input type="text"/>	日くらい
14 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
15 ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
16 その他（公民館、公園、広場など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※ 公民館で行う「放課後子ども教室」を利用している（利用を希望する）場合は「6」に回答

問 17 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていましたか。または、過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

「放課後児童教室」の場合は、利用（希望）時間もご記入ください。（□内に数字で記入）

9 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
10 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
11 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
12 放課後児童教室〔学童保育〕	週	<input type="text"/>	日くらい
	⇒下校時から	<input type="text"/>	時まで（24時間制表記）
13 子ども家庭センター	週	<input type="text"/>	日くらい
14 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
15 ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
16 その他（公民館、公園、広場など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※公民館で行う「放課後子ども教室」を利用している（利用を希望する）場合は「6」に回答